

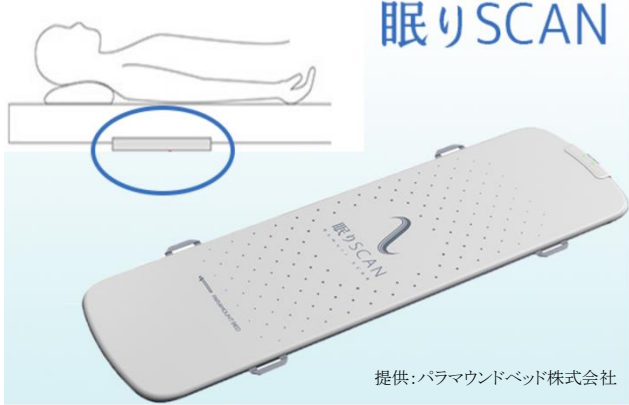
大腿骨近位部骨折で手術を受けられる方へ

「大腿骨近位部骨折術後高齢患者さまにおける術後早期の食事摂取量と睡眠指標との関連」

この研究は、通常の診療で得られた記録に加え、新たに患者さまの情報を取得して行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる方のお一人ずつから直接同意を得ることができる場合には、研究の目的を含む研究の実施について以下の情報を提示して適切な同意を得ることが必要とされています。同意いただける場合は、その旨を担当者にお伝えください。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2026 年 7 月～2027 年 10 月 31 日に、宇治徳洲会病院 整形外科で股関節・大腿骨近位部骨折の手術を受けた 65 歳以上の方
2 研究目的・方法	大腿骨近位部骨折術後の高齢患者さまでは、睡眠の質の低下が日中活動量の低下やリハビリテーションの遅延を招き、ADL 低下や入院期間の延長につながる可能性があります。一方、食事摂取量と睡眠の関連については十分に明らかになっていません。 本研究では、65 歳以上の大腿近位部骨折術後患者さまを対象に、術後早期の食事摂取量と睡眠の質との関連を調査します。睡眠の評価には非装着型センサー「眠りSCAN」を使用し、術後 1 日目から 7 日目までの睡眠データを取得します。また、診療録から食事摂取量や患者背景等の情報を収集します。本研究のために新たな採血や検査、治療は行いません。本研究により、術後早期の食事摂取量と睡眠の関係を明らかにし、術後回復支援に向けた看護ケアの基礎資料とすることを目的としています。  眠りSCAN 提供:パラマウンドベッド株式会社 研究の期間:施設院長許可(2026 年 7 月予定)後～2028 年 10 月 31 日
3 情報の利用拒否	同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	① 研究対象者背景: 年齢、性別、身長、体重、診断名、術式、認知症の有無など ② 食事情報: 食形態、提供エネルギー量、主食摂取割合、副食摂取割合など ③ 睡眠情報: 眠っていた時間や眠りの深さ、目が覚めた時間、寝つくまでの時間など

5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者 氏名： 宇治徳洲会病院、整形外科 看護師 前川 碧希 住所： 〒611-0041 京都府宇治市槇島町石橋 145 連絡先： 0774-20-1111（病院代表）
-----------	--

2026 年 6 月 18 日作成(第 1.0 版)